

令和7年度「福島ロボットテストフィールド
小中学生向けロボット・プログラミング教育応援事業」に関する
業務委託 仕様書

1 事業の目的

令和2年度から小学校においてプログラミング教育が必修化された機会を捉え、福島ロボットテストフィールド（以下「RTF」という。）独自のロボット・プログラミング教育メニューを整備した。

次世代の人材育成の取組であるロボット・プログラミング体験を通じて、ICTリテラシーやAI機能を学び、幅広い年代や対象に対してロボットに触れる機会や場の提供等を行うことを目的とする。

2 実施期間

契約締結の日から令和8年2月末日

3 業務委託内容

(1) 委託事業名

福島ロボットテストフィールド小中学生向けロボット・プログラミング教育応援事業

(2) 業務の内容

ICTリテラシーやAI機能を含むロボット・プログラミング体験会を実施する。

詳細な仕様は以下のとおり。

ア 対象者

- ・ 県内の小学校児童、中学校生徒

イ 受入人数（最大）

- ・ 受入人数：1回につき最大40名（学校のクラス単位の受け入れを想定）
- ・ ロボット・コントローラー：2人で1台又は1人1台

ウ スタッフ体制

- ・ 当日対応するスタッフのうち1名は、チーフとして体験会を取り仕切ること。

エ 日時・場所・回数

- ・ 1回につき2時間程度（講習時間90分、休憩、準備、後片付け等を含む）を目安とし、具体的な日時や時間等については、（公財）福島イノベーション・コースト構想推進機構（以下「機構」という。）と協議して決定する。
- ・ 場所は、福島ロボットテストフィールド内とする。
- ・ 回数は、年間20回とする。

オ その他

- ・ 原則RTFで所有する以下のロボットのいずれかを使用すること。但し、受託業者が用意する場合は、RTFで所有していないロボット等を使用してもよいものとする。
 - a) あるくメカトロウィーゴ 26台
 - b) Castalia Ozobot evo 25台、Ozobot 2.0 bit 8台（※）
 - c) Sphero SPRK 3台、bolt 5台

d) iPad (コントローラー) 26 台

※Web アプリ立ち上げ時のみ、インターネット接続が必要。カンファレンスホール及び会議室に LAN ポートがあり、R T F 所有のルーターを接続することで、Wi-Fi 接続が可能。

- ・小中学校の公募や選定の方法は、機構と協議して決定するものとし、原則として機構が行う。

(3) 留意事項等

- ア ロボットに親しみながらプログラミングに必要な論理的思考力を養う機会を提供するような本事業の趣旨に合致したものとし、ロボットの単なる操作体験とならないようにすること。
- イ 実施に際しては、使用ロボットの性能（連続使用可能時間等）を考慮し、休憩・充電時間を設けるなど、事前に十分実現可能な計画を行うこと。
- ウ 実施に際しては、当日の児童生徒の習熟度やスキルレベルに合わせて臨機応変に対応できるように、事前に十分な計画を行うこと。
- エ 実施に際しては、安全に十分配慮すること。
- オ 実施に際しては、病院など当日の緊急連絡先をあらかじめ確認すること。
- カ 使用ロボット等各種機器・施設について、適切な利用を心がけること。
- キ 毎回の体験実施後、児童・生徒や引率教員等に対しアンケート調査（集計・分析）を実施することにより、学校現場におけるプログラミング教育のニーズを的確に把握するとともに、本体験会の改善・向上に取り組むこと。

(4) 納品成果物

成果報告書 紙媒体 1 部、電子データ（メール送付）

4 事業実施体制

- (1) 本事業全般にわたる責任者及び担当者について、あらかじめ書面にて報告すること。
- (2) 各体験会のチーフ及びスタッフについては、本事業の趣旨・内容を十分に理解し、かつ、業務遂行に必要な知識・能力・経験を有する要員を配置すること。
- (3) 円滑に業務を遂行できるよう、当該業務に従事する者を教育すること。
- (4) 工程管理を徹底するため、発注者との打合せを随時開催すること。

5 その他

本契約・仕様に定めのない事項や定めた内容の解釈に疑義が生じたときは、双方協議の上決定するものとする。ただし、明示のない事項にあっても、社会通念上当然必要と考えられるものについては、本業務に含まれるものとする。

以上